



各コントロールについて

VOLUME

本機のマスター・ボリュームとして機能します。COMP ノブと MIX ノブを変更した場合、全体のレベルを同じに保つために VOLUME コントロールを変更する必要があります。コンプレッサー回路の不要なクリッピングを避けるため、高いレベルのコンプレッションを使用する場合は、VOLUME コントロールを 3 時の位置以下に保ってください。

EQ

「ティルト」EQ と呼ばれる非常にユニークな EQ 回路を搭載しています。EQ コントロールを 12 時の位置でフラットです。時計回りに回転させると、高音域が増加し、低音域が減少します。反時計回りに回すと、高音域が減少し、低音域が増加します。このタイプの EQ は、トーンを「ミックスに合うように」調整する場合に非常に効果的です。EQ をブライتناセッティングに調整すると、ギターのトーンがミックスの中でより際立ち、明瞭さが加わります。

COMP

時計回りに回すとコンプレッションが強くなります。MIX と VOLUME コントロールでバランスを取ります。

MIX

クリーンとコンプレッションサウンドをブレンドします。反時計回りに回すとフルコンプレッションになります。時計回りに回しきると、クリーン信号がフルになります。

ヒント :COMP ノブを最大にして、MIX コントロールでコンプレッションの強さを調節してみてください。ノートの後端にサステインを加えながら、自然なアタック感を奏でます。

DC INPUT

DC9V-18V (センターマイナス) で動作します。18V で動作させると、ヘッドルームとダイナミック・レスポンスが向上しますが、18V 以上の電圧をかけないよう注意してください。

COMPRESSOR について

本機はコンプレッサーとしてその透明性と繊細さで知られるオプティカル・リミッター回路を搭載しています。極端なコンプレッション設定で非常にアグレッシブなレスポンスを発揮し、オプティカル回路がサウンドの角を取り、トーンに穏やかな甘みと丸みを加えることができるのが真の強みです。

自然なサウンドとピッキングニュアンスを大切にするため、BLOOM では通常のコンプレッサーを使用せず、オプティカル・コンプレッションがギタリストのトーンに与える「卓越した」レスポンスを追求しました。

コンプレッサー・セクションの周波数特性はフラットで、高音域や低音域をブーストしたりカットしたりすることなく、ギター信号のダイナミクスを変化させます。優れたコンプレッサーは、聴こえるものではなく、感じるものなのです。

クリーンブレンド

コンプレッションサウンドをより繊細にしたい場合、MIX コントロールを使用し、コンプレッションされた信号にクリーンな信号をブレンドすることができます。

MIX コントロールの最大の特徴の 1 つは、プレイヤーがアグレッシブなコンプレッションを設定し、クリーンな信号をブレンドすることができる点です。これにより、自然なアタックを与えながら、高いコンプレッション設定から得られるサステインを得られます。